

第2学期終業式

表彰伝達後に第2学期終業式が行われました。校長式辞で宮地校長は、「2学期には多くの学校行事が計画されており、運動会や松工祭、弁論大会やマラソン大会など、それぞれの行事が行われましたが、どの行事も生徒のみなさんが生き生きと活動している姿が見られました。また、スポーツや文化、ものづくりに関する各種大会が開催されるなか、多岐にわたる分野で多くの生徒のみなさんの活躍が見られました。改めて、みなさんの活躍や成果を讃えるとともに、今後の活躍を大いに期待したいと思います。先日、卒業生の方が来校されました。地元企業に就職され研究開発の分野で活躍された方で、在職中に千を超える特許を取られたそうです。その卒業生の方は会話の中で、「考えているか考えていないかは、普段の行動を見ていると分かる。掃除一つ、そのやり方を見ていると分かるものです。」という話をされていました。普段、私たちは何気なく行動しており、その行動一つ一つを意識していないものです。しかしそこには、普段の自分の思いや考えが出ている、ということ改めて感じました。日常の学校生活を目標や目的を持って、しっかりと考えて行動することの大切さ、そして、普段から周囲のことを考え思いやりの心を持って行動することの大切さ、ではないでしょうか。明日から、およそ20日間の長い休みが始まりますので、自分自身を見つめ直し、新年からは、さらに成長できるよう、引き続き、努力精進してほしいと思います。」と述べました。生徒を代表して電気科3年鴨河さんが、「二学期は体育祭、文化祭、マラソン大会など3年生にとって最後となる行事が多くあり、忙しい学期でした。そんな中、私が1番頑張ったことは就職試験です。私が受けた会社は学校で誰も受けたことがなく、不安でいっぱいでした。最初はうまくできなかつたりして、落ち込むこともありました。それでも諦めずに、安心して試験が受けられるよう、放課後も遅くまで残り、先生にアドバイスをもらいながら試験の練習をして無事合格することができました。このことから自分から行動を起こすことや継続することの大切さを学びました。残り少ない高校生活を一日一日楽しみたいです。」と述べました。



校長式辞 宮地校長



生徒代表のこたば 鴨河さん



第2学期終業式